



ひがしっこ

ひびきあうあいさつ がんばる勉強・読書 しっかり仕事 コミュニケーション

東唐津小学校 学校便り 第3号

令和6年 4月25日

文責:校長 村山輝美



ヒラメの稚魚放流

今年も、網元の坂本様のご協力により、1年生でヒラメの稚魚放流を行いました。バケツに稚魚を分けてもらい、海岸に持っていきました。「触ってみていいよ」と言われて、早速触ってみる子どもたちもいれば、恐る恐るバケツの中に手を伸ばす子ども達もいました。触った時にバケツから飛び出すヒラメの稚魚を見て、「あ、いのちが飛んだ!」という声を聞きました。なんて素敵な言葉でしょう。感動したことを素直に言葉にできる純粋な心を大切に育てていきたいと思った瞬間でした。夢中になって活動し、体操服もずいぶん濡れていたと思います。「また海に来たい!」とたくさん子ども達が笑顔で話していました。



今年度も「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に取り組みます。

海洋教育パイオニアスクールとは…笹川平和財団海洋政策研究所が、海洋教育を普及させることを目的として、教育現場が必要としている学習活動実践支援の枠組みや副教材の検討などの条件整備を行っています。その取組の中に「海洋教育パイオニアスクールプログラム」があります。

海に囲まれたわが国では、全国各地の学校において海を題材にしたさまざまな学習活動が行われています。これらは、地域学習、体験活動、環境保全、産業、安全、防災などさまざまな視点で行われていますが、その多くは探究的な学びであり問題の発見や解決を念頭においた主体的・協働的な学習であることが特徴です。「海洋教育パイオニアスクールプログラム」は、アクティブ・ラーニングの題材としても相性が良く、これからの学びに役立つ可能性を秘める海の学びに取り組もうとする学校や先生の活動を支援します。これまで行ってきた海の学習をより充実させたい、あるいは新しい海の学びに取り組んでみたい、という先生方にご活用いただき、日本、そして世界を担う子どもたちに求められる資質・能力を育む、海を用いた新たな学びの可能性を広げていきたいと考えています。

「笹川平和財団 海洋政策研究所」HP <https://www.spf.org/pioneerschool/> より

本校も、地域環境を生かした教育に長年取り組んでいます。そこで、この趣旨に則り、2021年度より、最大年間30万円の助成金をいただきながら「海を知る・海に親しむ・海を守る」をテーマに様々な海や虹の松原での体験活動や調査活動に取り組んできました。虹の松原清掃活動や東の浜やヨットハーバーでのサップやシーカヤック、ヨット体験。地引網体験活動。貝殻や松ぼっくりを使った創作活動。他地域との交流活動等々。今年度も保護者の皆様、地域の方々のご協力を得ながら、東唐津の素晴らしい環境を生かし、様々な活動を仕組んでいきたいと思えます。そして、自分も地域の環境保全に役立っているという自己有用感を育て、自分たちの住む町に誇りを持てる大人になって欲しいと願っています。

ご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

